日本ポリアミン研究会　第 16 回研究発表会

【プログラム】

★

特　別　講　演

Ulrich R. Folsh and Christian Loser

(Christian-Albrechts Univ. 1st Medical Dept.)

The role of polyamines in normal, adaptive and malignant pancreatic and intestinal growth

ランチョンセミナー

藤　原　　邦　雄

(崇城大学工学部応用生命科学科教室)

ハプテン化合物の免疫化学的研究
ー抗癌抗生物質、ポリアミン、ヒスタミンを中心としてー

★

ー　プログラム　ー

★

1月 18 日(木)

開会の辞（13:00～13:10）　五十嵐一衛

一般演題(1)【ポリアミンの検出・分析】（13:10～14:25）　座長：鮫島啓二郎（城西大学・薬学部），平澤栄次（大阪市立大学大学院理学研究科・生物・代謝調節）

１．動物組織中の非標識および 15N-標識ポリアミンの同時分別定量

許　泳吉，原　健，佐々木ひとみ，新津　勝，鮫島啓二郎（城西大学・薬学部）

２．好熱性硫黄芝細菌（大鎌型細菌）における四級ペンタアミンの存在

浜名康栄 1，加藤憲二 2（1 群馬大学医学部・保健学科，2 信州大学・医療技術短期大学部）

３．高等植物のポリアミン分解経路

Jeyanthi Rebecca Livingstone，平澤栄次（大阪市立大学大学院理学研究科・生物・代謝調節）

４．植物の栄養生理とポリアミンーキュウリのポリアミン組成とその変動要因ー

藤原伸介（農林水産省・農業研究センター・栄養診断研究室）

５．大腸癌治療過程における尿中ジアセチルスペルミンの変化について

平松恭子 1，今城真理 1，馬場糸子 1，栗原由利子 2，杉本雅幸 3，田中荘一 4，高橋慶一 5，亀井幸子 2，岩崎憲太郎 1，川喜田正夫 1（1 東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所 1，東京医科歯科大学 2，都立大久保病院 3，都立墨東病院 4，都立駒込病院 5）

一般演題(2)【ポリアミン代謝関連酵素】（14:25～15:10）　座長：大島泰郎（東京薬科大学・生命科学部・細胞機能学研究室），川喜田正夫（東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所）

６．*Thermus thermophilus* HB8 のポリアミン合成系酵素の研究

大沼みお 1，照井祐介 1，玉腰雅忠 1，石田真己 2，鮫島啓二郎 3，大島泰郎

1(1 東京薬科大学・生命科学部・細胞機能学研究室, 2 東京水産大学・生物資源化学講座, 3 城西大学・薬学部)

7. *Bacillus brevis* の spermidine 合成酵素について

下遠野久美子1, 石田正成1, 千田倫子1, 遠藤豊成1, 和田牧子2, 白幡 晶2(1 共立薬科大学, 2 城西大学・薬学部)

8. 大腸菌 *S*-アデノシルメチオニン脱炭酸酵素に対するアミノプロペニル構造を有する化合物の阻害機構

和田牧子1, 亀井千恵子1, 岩崎聖子1, 柏木敬子2, 五十嵐一衛2, 白幡 晶1(1 城西大学・薬学部, 2 千葉大学・薬学部)

一般演題(3)【ポリアミンの機能1】(15:30〜16:30) 座長:松藤千弥(東京慈恵会医科大学・生化学第二), 大谷周造(大阪市立大学・医学部)

9. ポリアミン類による T7 RNA ポリメラーゼの活性化および TS 法による DNA 塩基配列決定の迅速・高精度化の実現

岩田正彰1, 伊澤真樹2,3,6, 佐々木宣哉4, 南雲葉子5, 雀部博之7, 林崎良英2,3,8(1 理研超分子科学研, 2 理研筑波研生体分子機能研, 3 理研横浜研ゲノム科学総合セ, 4 東大大学院薬系遺伝学, 5 東京家政大栄養, 6 ニッポンジーン開発部, 7 千歳科技大光科学, 8 科学技術振興事業団)

10. スペルミジンによる RNA/DNA 結合の形成と構造変換

水田龍信(東京理科大学・生命科学研究所)

11. ポリアミンによる σ28 とアデニル酸シクラーゼの合成促進機序
吉田　円 1, 柏木敬子 1, 河合剛太 2, 石浜　明 3, 五十嵐一衛 1（1 千葉大学・薬学部, 2 千葉工業大学・工学部, 3 国立遺伝学研究所・分子遺伝研究部門）

12. スペルミンによるタバコ病害抵抗性の獲得
山川博幹 1,2, 平賀　勧 2,3, 光原一朗 2,4, 佐藤征弥 5, 鎌田　博 1, 大橋祐子 2,4（1 筑波大学・生物学科, 2CREST・JST, 3 北海道大学・農学部, 4 農水省・生物研, 5 徳島大学・総合科学）

一般演題(4)【ポリアミンの機能2】（16:30～17:30）　座長：白幡　晶（城西大学・薬学部），松崎　茂（獨協医科大学・生化学）

13. デオキシスパガリンによる eIF5A のハイプシン化の阻害
柏木敬子 1, 大木祐二 1, 西村和洋 1, 福地智美 1, 雑賀　寛 2, 五十嵐一衛 1（1 千葉大学・薬学部, 2 日本化薬株式会社・医療事業本部・創薬本部）

14. シャペロニン GroEL の ATPase 活性に及ぼす種々のポリアミンの影響
大江正人, 松崎　茂（獨協医科大学・生化学）

15. MHC class I 抗原提示機構と分子シャペロン
鳥越俊彦, 吉田　仁, 大島　真, 廣橋良彦, 上口権二郎, 佐原弘益, 田村保明, 佐藤昇志（札幌医科大学・第一病理）

16. 細胞容積とポリアミン濃度の関係
亀井千恵子, 栗田伸人, 白幡　晶（城西大学・薬学部）

★

1 月 19 日（金）

一般演題(5)【ポリアミン・増殖とアポトーシス】（9:30～10:15） 座長：柏木敬子（千葉大学・薬学部），市村幸子（科学技術庁放射線医学総合研究所・生物影響研究部）

17. マウスニューロブラストーマ C1300 の増殖とポリアミン含量におよぼす交流磁場の影響

趙　秀采（藤田保健衛生大学・衛生学部生物）

18. スペルミジン／スペルミンアセチル転移酵素，ならびにその Splicing variant, n-SSAT ，の放射線応答機能

市村幸子 1，富取秀行 2，根井　充 1，福地邦彦 3，五十嵐一衛 2（1 科学技術庁放射線医学総合研究所・生物影響研究部，2 千葉大学・薬学部，3 昭和大学・医学部）

19. SAMDC 過剰発現により起こしたアフリカツメガエル嚢胚初期のアポトーシスとカスパーゼ

塩川光一郎 1，高山英次 2，甲斐理武 1，肥後剛康 1，安彦行人 1，矢尾板芳郎 3，五十嵐一衛 4（1 東京大学大学院理学系研究科生物科学動物学，2 防衛医科大学校・寄生虫学，3 広島大学大学院理学研究科両生類研究施設，4 千葉大学・薬学部）

一般演題(6)【ノックアウトモデル】（10:35～14:35） 座長：五十嵐一衛（千葉大学・薬学部），村上安子（東京慈恵会医科大学・生化学第二）

20. *S*-アデノシルメチオニン脱炭酸酵素遺伝子（AMD1）ノックアウトマウス作製と解析

西村和洋 1，中津　史 2，柏木敬子 1，大野博司 3，斉藤　隆 2，五十嵐一衛 1

（1 千葉大学・薬学部，2 千葉大学大学院医学研究科・遺伝子制御，3 金沢大学・がん研究所・分子薬理）

21. 分裂酵母 *S*-アデノシルメチオニン脱炭酸酵素およびアンチザイム遺伝子破壊株におけるアンチザイム依存性 ODC 分解の解析

Manas K. Chattopadhyay，村上安子，松藤千弥（東京慈恵会医科大学・生化学第二）

22. Observations on the partial lethality of *Antizyme 1* knockout mouse

Xingli Meng1，Senya Matsufuji1，Yasuko Murakami1，Yoshinobu Sugitani2,3，Hitomi Yamanaka2,3，Tetsuo Noda2,3,4（1Dept. Biochemistry II・Jikei Univ. School of Med.，2Dept. Cell Biol.・Cancer Inst.，3CREST，4Dept. Molecular Genetics・Tohoku Univ. School of Med.）

23. 遺伝子ノックアウト細胞におけるアンチザイム 1 の機能解析

川浪大治，Gouri Chattopadhyay，孟　興麗，村井法之，村上安子，松藤千弥（東京慈恵医科大学・生化学第二）

ランチョンセミナー（12:00～13:00）　司会：藤原研司（埼玉医科大学・第三内科）

ハプテン化合物の免疫化学的研究－抗癌抗生物質，ポリアミン，ヒスタミンを中心として－

藤原邦雄（崇城大学工学部・応用生命科学科）

特別講演（13:15～14:15）　司会：馬場忠雄（滋賀医科大学・第二内科）

The role of polyamines in normal, adaptive and malignant pancreatic and intestinal growth

Ulrich R Folsh and Christian Loser（1st Medical Department, Christian-Albrechts University, Kiel, Germany）

一般演題(7)【ポリアミンと臨床】(14:15～15:00)　座長：辻川知之(滋賀医科大学・第二内科)，名越澄子(埼玉医科大学・第三内科)

24. PPARγ(Peroxisome Proliferator-Activated Receptor γ)リガンドによる食道癌細胞の増殖抑制とポリアミン

高島　隆 1，藤原靖弘 2，樋口和秀 2，荒川哲男 2，矢野善久 1，蓮間忠芳 1，大谷周造 1(1 大阪市立大学大学院医学研究科・細胞機能制御学，2 大阪市立大学医学研究科・消化器器官制御内科学)

25. ラット小腸でのグルコース吸収に対するポリアミンの増強効果

宇田勝弘，辻川知之，伊藤明彦，福永哲也，佐藤　仁，伊原隆史，藤山桂秀，馬場忠雄(滋賀医科大学・第二内科)

26. 皮膚腫瘍における ornithine decarboxylase(ODC)の免疫組織化学的局在

籠浦正順，豊田雅彦，松井千尋，諸橋正昭(富山医科薬科大学医学部皮膚科学教室)

閉会の辞(15:00～15:10)　馬場忠雄(滋賀医科大学・第二内科)